

はじめに

人が仕事をする上で最もつらいのは、部下のことを考えない、理解のない、守ってくれない上司のもとで、やりがいのない仕事をする事です。それでも、給料が人並み以上にいいのであれば多少は我慢できるのですが、そういう場合、得てして給料も人並み以下だったりします。そして、人はやがて「辞めたい」という衝動に駆られるようになります。

ところが、世の中は、昨年11月のリーマンショックを皮切りとする金融危機以来、全世界的に未曾有の経済不況におちいった今、日本においても、「派遣切り」と言われるような雇用問題が噴出しています。

転職の話しを耳にしても、勤務先が倒産したとか、リストラで解雇されたとか、消極的な方が多いようです。おそらく、これからもしばらくはこの傾向が続くものと予想され、失業率なども大きく上昇するものと思われれます。

このような社会情勢を目にすると今度は、いくら会社に不満があっても、環境

が悪くても、会社を辞めたら次の仕事はないかもしれない。我慢をしないといけないと思ってしまうたりします。

確かに、一般的なお話しであれば、その傾向は正しいと思います。しかしながら一方で、こういう時代だからこそ本当の意味で、企業はより優秀な社員を採用したいという意向が強くなってきます。

だからこそ、今は、お金という視点から転職について考える絶好のチャンスなのです。今の職場環境は本当はいいのか？ 本当に悪いのか？ お金の面についてはどうなのか？ 自分のキャリアはどうなのか？ また、転職するのであれば、転職先はどうやって探したらいいのか？

本書では、少なくとも「やりがい」とともに「お金」についても人並み以上には満足できるような、転職を成功させるために考えなければならぬポイントを解説しています。もやもやと悩んでいた転職について、本書をきっかけに、前向きに考えてもらえるようになることを願っています。